

The Three Great Views of Japan



Matsushima

麻田廣司「松嶋図」 何必館・京都現代美術館

絶景かな
絶景かな

日本三景展

松島・天橋立・厳島

リニューアル10周年記念



「厳島図」 広島県立美術館

Itsukushima

中世の絵巻から近現代の日本画まで、
「日本三景」の絵画を一堂に――

平成17年 8月2日火―9月4日日

前期：8月2日火―8月21日日／後期：8月23日火―9月4日日

開館時間：午前9時―午後5時（土曜日は午後7時まで）

※入場は閉館の30分前まで ※8月2日は午前10時から

休館日：月曜日

入場料：一般1000(800)円／高・大学生600(400)円／小・中学生400(300)円

（ ）内は前売り、20名以上の団体、および本展半券提示のリピーター（再来場者）

※前売券は、広島県立美術館、チケットぴあ（前売686-088 / 当日686-089）、ローソンチケット（67693）

広島市・呉市の主なプレイガイド・画廊・画材店・書店などで販売しています。

◇主催：広島県立美術館・「日本三景展」実行委員会

◇企画協力：中国新聞社

◇後援：宮島町・宮島町教育委員会・（社）宮島観光協会・日本三景観光連絡協議会・（社）広島県観光連盟
NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送
ひろしまPステーション76.6FM・エフエムふくやま

◇特別協力：瑞巖寺・鹽神社・龍神社・智恩寺・成相寺・厳島神社

◇助成：（財）地域創造



広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM



歌川広重「六十余州名所図会 丹後 天の橋立」 東京国立博物館

Amanohashidate

日本三景展



国宝「平家納経 法華経 薬王菩薩本事品第二十三」見返し 厳島神社

松島(宮城県)、天橋立(京都府)、厳島(広島県)はそれぞれに特徴ある海浜景観の美しさで知られる名所で、古来より貴族や武将、文人墨客らが数多く訪れ、その風光明媚を讃えてきました。

この三名所の景観を全国でもとくに優れたものとするところへ方は、早く寛永二〇年(一六四三)成立の『日本国事跡考』に見えています。そのころから江戸時代を通じて、いわゆる「日本三景」が広く知られるようになりました。

本展は日本三景に関わる絵画作品を一室に会する初めての展覧会です。中世の絵巻から近世の名所風俗図、写生・真景図、浮世絵版画、近現代の日本画まで、三景ゆかりの杜寺の文化財なども含む約百点で構成されます。

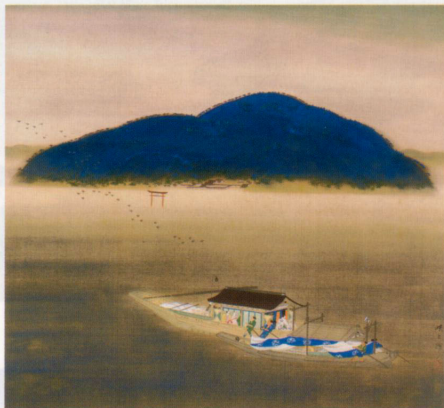
かつて人々は日本三景をいかにとらえ、それらを描いた絵画の中に何を見ようとしたのか。異なる時代、異なる画家が生み出したさまざまなビジュアル・イメージの世界を旅しながら、日本三景に注がれた人々のまなざしと絵画表現との関係を探ります。



島田雅衛「天橋立真景図巻」(部分) 智恵寺



川瀬巴水「日本風景集 東日本編」より 松島 材木島 東京国立近代美術館



松岡映丘「厳島詣」姫路市立美術館



「松島・天橋立図」のうち「厳島図」(部分)

※前期:8月2日(火)~8月21日(日) 後期:8月23日(火)~9月4日(日)で大幅な展示替えを行います。

ギャラリートーク

8月5日(金)、8月26日(金) 各回午前11時から
※入館券が必要です。

講演会

日時 8月7日(日) 午後1時30分から
講師 島尾 新(しまお あらた・多摩美術大学教授)
演題 「旅を語る・旅を描くー日本三景の絵画」
場所 県立美術館地階講堂
※聴講無料。申し込み不要(先着順)。

美術講座

①8月14日(日)「教科書では学べない!描かれた厳島」
②8月28日(日)「ガイドブックにはのっていない!描かれた厳島」
各日とも午後1時30分から 当館地階講堂にて
講師:知念 理(当館主任学芸員)
※聴講無料。申し込み不要(先着順)。

平家琵琶の調べ(ロビーコンサート)

日時 8月20日(土) 午後3時から
演奏 荒尾 努(あらお つとむ・平曲弾き語り奏者)
演目 「祇園精舎」、「大塔建立」、「那須与一」
場所 県立美術館1階ロビー
※無料。



●JR広島駅より約1km
●広島城より約400m
●市内電車(「八丁堀」で乗り換え)
白鳥線で「縮景園前」下車約20m



広島県立美術館 HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM 〒730-0014 広島市中区上機町2-22
TEL (082) 221-6246 FAX (082) 223-1444
http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/